

## 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更のポイントと今後の対応

○政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が令和5年2月10日に変更され、5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の5類に位置付けられることとされた。

○また、三つの密を避けるなどの基本的な感染防止策に大きな変更はないが、マスクの着用の考え方については、個人の主体的な選択を尊重するなどの変更が加えられた。

○この変更のポイントについて説明するとともに、廃棄物処理におけるマスク着用に関する当面の考え方を整理した。

## 1. 感染症法上の位置づけの変更

オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置付けることとした。

## 2. 感染防止策

「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等が基本的な感染対策であることは、変更がない。ただし、「マスクの着用」の考え方については、次のような変更がある。

### 3. マスクの着用について

「マスクの着用」の考え方については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とし、政府は各個人のマスクの着用の判断に資するよう、感染防止対策としてマスク（不織布マスクを推奨）の着用が効果的である場面などを示すこととする。

- ① 高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスクの着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨する。
  - ・ 医療機関受診時
  - ・ 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
  - ・ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。）に乗車する時（当面の取扱）
- ② 新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時は、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的であることを周知していく。
- ③ 症状がある方、新型コロナ検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないため、外出を控える。通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクを着用する。
- ④ 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者については、勤務中のマスクの着用を推奨する。

### 3. マスクの着用について（続き）

マスクの着用は個人の判断に委ねられるものであるが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される。

この「マスクの着用」の考え方は、円滑な移行を図る観点から、国民への周知期間や各業界団体及び事業者の準備期間等も考慮し、同年3月13日から適用することとする。

なお、「マスクの着用」の考え方の適用に当たっては、以下の点に留意する。

- ・ マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう周知していく。
- ・ 感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得る。

「マスクの着用」の考え方の適用後であっても、基本的な感染対策は重要であり、政府は、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行について呼びかけることとする。

○環境省の「廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」については、  
「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和5年2月10日）」の内容を踏まえ、  
有識者の意見等取りまとめたうえで今後改定予定だが、それまでの間は廃棄物処理業においては  
以下の対応の方向性が考えられる。

## 基本的対処方針の変更を受けた廃棄物処理におけるマスク着用に関する当面の方向性

### 1. 廃棄物を直接扱わない場合

従業員が通勤するときや事務的作業など、廃棄物を直接扱わない場合のマスク着用については、今般変更された基本的対処方針に沿って対応することが考えられる。

### 2. 廃棄物を扱う場合

廃棄物の収集作業や廃棄物の選別作業など、廃棄物を直接扱う場合にあっては、従前どおりにマスクを着用することが有効と考えられる。

ただし、マスクは飛沫の感染防止に効果がある一方で、高温・多湿な環境では、熱中症のリスクが高くなる。このため、屋外で、人との十分な距離（少なくとも2メートル以上）を確保できる場合には、状況に応じて、マスクを外すことも熱中症予防の観点からは有効と考えられる。

### 3. 留意事項

「マスクの着用」の考え方の適用後であっても、基本的な感染対策は重要であり、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を励行する。